

2006年2月7日

AED(自動体外式除細動器)の設置駅の拡大について

JR東日本では、お客さまに駅を安心してご利用いただくための施策の一環として、2005年9月より、AED(自動体外式除細動器)を御茶ノ水駅に試行的に設置しておりますが、このたび、1日の乗車人員が10万人以上である31駅を対象として新たにAEDを設置することといたしました。

1 新規設置駅

1日の乗車人員が10万人以上である31駅に設置します。(別紙参照)

2 駅構内における設置箇所

各駅の改札口付近に設置し、駅社員のみならず、広く一般のお客さまにもお取り扱いいただけるようにいたします。

3 導入時期

2005年度内に東京・上野・池袋・新宿・渋谷・品川の各駅に先行導入し、その他の駅は2006年度上期を目途に設置します。

【AED(Automated External Defibrillator)とは】

致死性の不整脈「心室細動」が発生した心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す装置で、患者が倒れた現場近くで最初の発見者が使用して救命できるよう、小型かつ操作を簡単にしたものです。欧米では2000年頃から普及し、空港・駅・学校など公共施設に備えられるようになりました。多くの国で医療従事者でない人の使用が認められています。

【心室細動とは】

心室細動とは、心臓の心室が小刻みにふるえた状態になり、脳やからだに血液を送り出すことができなくなるため、数分間続くと死にいたる危険な不整脈のことで、発症から1分経過するごとに10%ずつ救命率が低下するといわれています。

A E Dについて

1 . A E D (Automated External Defibrillator;自動体外式除細動器)とは

致死性の不整脈「心室細動」になった時に、一時的に電気ショックを与え、細動を取り除いて心拍を再開させる装置。

(駅構内設置イメージ)

壁掛け型
A E Dを取り外すと
警報音が鳴動する。



2 . 導入予定駅

【先行導入駅(6駅)】

新宿駅、池袋駅、渋谷駅、東京駅、品川駅、上野駅

【2006年度導入駅(25駅)】

横浜駅、新橋駅、大宮駅、高田馬場駅、北千住駅、川崎駅、有楽町駅、立川駅、柏駅、
秋葉原駅、田町駅、浜松町駅、吉祥寺駅、船橋駅、蒲田駅、恵比寿駅、五反田駅、中野駅、
神田駅、西船橋駅、津田沼駅、町田駅、千葉駅、国分寺駅、松戸駅

【既導入駅(1駅)】

御茶ノ水駅